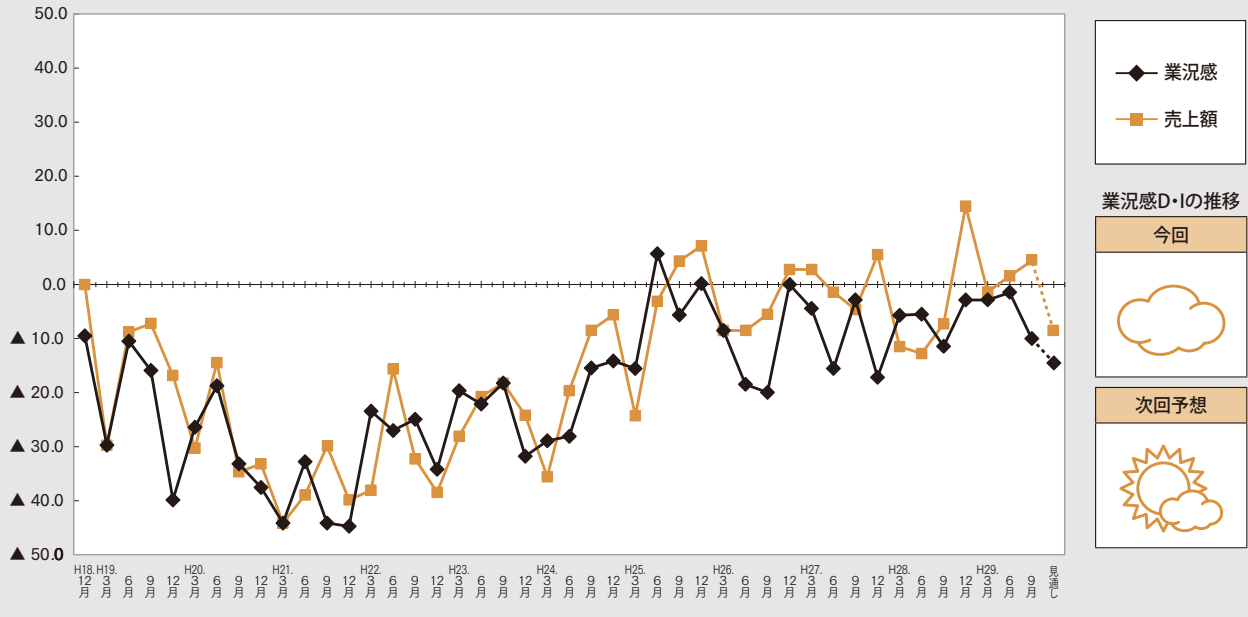


# 小売業

Retail trade

# 業況感悪化

D・I推移グラフ(小売業)



## 1 今期 (平成29年7 - 9月期)

業況感は▲10.0 (前期▲1.4)となり、8.6ポイント悪化した。項目別に見ると売上が2.9ポイント改善し、収益も横ばいながらD I値プラスを維持した。一方で在庫、資金繰り、人手が大きく悪化しており、全体の業況感を引き下げたと思われる。

## 2 来期の予想 (平成29年10 - 12月期)

来期の業況感は▲14.3と、引き続きD I値のマイナス予想となっている。項目別に見ると売上額、収益、資金繰りが悪化、在庫の過剰感も増す予想。人手、設備の不足感も解消されず、年末に向けて不安な様子を示している。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H28. 9月期	H28. 12月期	H29. 3月期	H29. 6月期	H29. 9月期	来期 見込み
業況感	▲ 11.4	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 1.4	▲ 10.0	▲ 14.3
売上額	▲ 7.1	14.5	▲ 1.4	1.4	4.3	▲ 8.6
収益	▲ 7.1	10.1	▲ 8.6	2.9	2.9	▲ 8.7
販売価格	5.7	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0
仕入価格	▲ 17.1	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 10.0	▲ 5.7	▲ 1.4
在庫	2.9	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 11.4	▲ 14.5
資金繰り	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 11.4	▲ 8.7	▲ 28.6	▲ 27.1
人手	7.1	12.9	15.7	1.4	14.3	11.4
設備状況	5.7	10.0	11.4	11.4	4.3	4.3

## 業況調査メモ

鹿児島市松原町に8月、大隅の食を一堂に集めた「おおすみ美食市場」がオープンした。「大隅にはおいしい農産物が多いのに、物流の仕組みや売り込み先がない」と、鹿屋市の会社経営者らが立ち上げた。店内では野菜や加工食品の販売のほか、ビュッフェ形式のレストランで食事も提供している。大隅半島を訪れると、農産物や加工品など、魅力ある食に恵まれていることが分かる。天文館には大隅からお茶・サツマイモスイーツなどの専門店が出店しているが、大隅の企業がチームを組んで鹿児島市内中心部や大都市圏にアンテナショップを開設し、魅力をPRする機会を増やす方策は効果的だ。